| 学校番号 | ３１６ |
|---|---|

平成 31 年度　家庭科

| 教科 | 家庭 | 科目 | 家庭総合 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 家庭総合　（東京書籍） | | | | | | |
| 副教材等 | 生活ハンドブック（第一学習社） | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 授業は、プリント学習で進めます。最初の授業でファイルを用意→毎時間配布するプリントを完成させて提出→検印を押してもらう→返却されたプリントをファイルにとじる→テスト勉強→テスト前にファイル提出（毎時間きちんとプリントを提出すること、返却されたプリントを管理すること）
- １・２年で学習してきた内容をさらに深めて学習します。知識の習得にとどまらず、この先、その知識をいかに自分や家庭、社会の生活に役立てていけるかをしっかり考えてください。
- 体験的な学習では、友達の考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えを持ちましょう、また自分の考えをまとめて、発表することができるようになりましょう。

2　学習の到達目標

・社会生活を円滑に送るためのマナーやエチケットを知り、実践できる能力を身につける。
・子どもの発達過程や発達課題、親との関わりを知り、親になることの重みや責任を知る。
・家庭経済などについて関心を持ち、その充実向上を目指して意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身につける。
・家族や社会との共生を目指し、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などについて感心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。 | 人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などについて生活の充実向上を図るための課題を見出し、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。 | 人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などに関する技術を総合的に身に付けている。 | 人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識を総合的に身に付けている。 |
| 評価方法 | 学習状況の観察<br>プリントの記述<br>実習記録表<br>レポート・発表 | 学習状況の観察<br>プリントの記述<br>実習記録表<br>レポート・発表<br>定期考査 | 学習状況の観察<br>プリントの記述<br>レポート・発表 | 学習状況の観察<br>プリントの記述<br>実習記録表<br>レポート・発表<br>定期考査 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1学期 | マナー | ・食事（和・洋・中）<br>・挨拶や服装<br>・言葉遣い<br>・訪問 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:社会生活を円滑に送るためのマナーやエチケットに関心を持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。<br>b: 社会生活を円滑に送るためのマナーやエチケットについて考えを深め、まとめたり、発表したりしている。<br>C：社会生活を円滑に送るためのマナーやエチケットを知り、実践することができる。<br>d: 社会生活を円滑に送るためのマナーやエチケットについて理解している。 | 学習状況の観察<br>プリントの記述<br>レポート・発表<br>定期考査 |
| 1学期<br>2学期 | 保育 | ・命をはぐくむ<br>・子どもの育つ力を知る<br>・親としてともに育つ<br>・これからの保育環境 | ○<br>○<br>○<br>○ | ○<br><br>○<br>○ | <br><br>○<br> | ○<br>○<br>○<br>○ | a:母体の健康と子どもの誕生、子どもの心身の発達について関心を持ち、家族の果たす役割を考えようとしている。子どもを取り巻く環境や子育てにおける課題に関心を持ち、課題解決に向けて考えようとしている。<br>b:子どもを取り巻く環境の変化と子どもを生み育てることの意義、社会・地域・親の果たす役割について考え、課題を見出し、まとめたり、発表したりしている。<br>c:子どもの生活や子どもを取り巻く環境、子育てにおける課題などについて、情報を収集したり、調査することができる。<br>d:生命の尊さ、子育ての意義の重要性について理解している。妊娠や出産に関わる知識を身につけている。子どもの心身の発達や生活や環境とのかかわりについて、家族および地域や社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身につけている。 | 学習状況の観察<br>プリントの記述<br>レポート・発表<br>定期考査 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 福祉 | ・私たちの生活と福祉<br>・誰もが暮らしやすい社会を目指して | ○<br>○ | ○<br>○ | <br>○ | ○<br>○ | a:共生社会と福祉について家庭や社会の一員として関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。<br>b:共生社会を成立させるための課題を見出し、その解決を目指し社会の一員として何ができるか考え、工夫している。<br>c:共生社会の実現に向けて、自分のできることは何か、情報を収集・整理したり、実践に生かすなど、支えあう活動に必要な技術を身につけている。<br>d:共生社会の重要性について理解している。多様な人々のニーズ、ノーマライゼーションの理念を理解している。 | 学習状況の観察<br>プリントの記述<br>レポート・発表<br>定期考査 |
| | 家庭経済 | ・計画的に使う<br>・現代の消費生活<br>・消費者の権利と責任 | ○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○ | ○ | ○<br>○<br>○ | a:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。<br>b:多発する消費者問題についてその原因と対策について具体的な事例を通して考え、まとめたり発表したりしている。<br>c:家庭の経済生活の諸課題の具体的な事例を収集・整理したり、生涯を見通した経済計画を立てることができる。<br>d:現在および将来の消費生活と経済の計画・管理、生活設計のために必要な知識を身につけている。 | 学習状況の観察<br>プリントの記述<br>レポート・発表<br>定期考査 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3学期 | 住居 | ・住生活について考える<br>・住生活の計画と選択 | ○<br>○ | ○<br>○ | <br>○ | ○<br>○ | a:生涯を見通して住居の機能や住生活の計画などについて関心を持ち、よりよい住生活について考えようとしている。<br>b:ライフスタイルや価値観に応じた生命と健康を守るための暮らしのあり方について考え、まとめたり、発表したりしている。<br>c:よりよい居住環境を整備するために必要な平面図を読み取ることができる。健康や安全に配慮した住環境について情報を収集・整理し、検討することができる。<br>d:安全で快適、かつ健康な住生活を主体的に営むために必要な知識を身につけている。 | 学習状況の観察<br>プリントの記述<br>レポート・発表<br>定期考査 |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。